

## 新採用職員が農業体験

総務企画課 外尾 奏葉

JAは4月3日から5日の3日間、日の出町の馬場敏明さん(67)のハウスで2023年度中途採用職員2人と24年度新採用職員4人を対象に農業体験研修を実施しました。

職員6人はハウスで、馬場さんの長男の貴之さん(38)からナス、キュウリ、ピーマン、シントウの苗ポットの間隔を広げるスペーシング、トウモロコシやキュウリの播種を教わりました。

参加した職員の浦野響輝さんは、「初めての農業体験でしたが、農業の大変さを痛感しました。今まで以上に農家の皆さんに感謝をしながら食事をしたいです」と話しました。



苗のスペーシングを指導する貴之さん(中央)

## 女性部増戸支部 廃油石けん好評

増戸支店 横田 美加

女性部増戸支部は4月16日、部員13人が増戸支店に隣接する加工場で廃油石けん作りをしました。廃油は部員らが家庭や飲食店などから使用後の食用油を引き取ったものです。約1カ月の乾燥期間を経て完成します。

経済センターあいなとマイム、増戸支店窓口で販売しています。台所などの頑固な油污れや、衣服の汗や泥汚れもよく落ちるとリピーター客が多く、特に粉石けんは使いやすく、置き場所も困らないため人気商品となっています。



原料を型に流し入れる部員



販売時の石けん

## うつつけい 春ヒナ配付

あいな 鈴木 亨

JAの各経済センターは4月19日、店舗で春ヒナの配付を行いました。毎年1月に管内の養鶏農家から注文を受け、都農林水産振興財団青梅畜産センターでヒナを引き取り、配付しています。今年は「東京うつつけい」、「ロードアイランドレッド」、「東京しゃも」の3種で19人が注文し、135羽を引き取りました。



東京うつつけい

「東京うつつけい」は同畜産センターがブランド鶏として生産しており、卵を生み終えたあと、食用肉としても有効利用できます。

ヒナを受け取りに来た養鶏農家の山下忠さん(85)は「毎年たくさん卵を産んでくれるので今年も期待したい」と話しました。



畜産センターでヒナを受け取る職員(左)

## 芝桜満開 来店客に好評

多西支店 一瀬 星和

多西支店では4月下旬、入口の花壇のシバザクラが満開となりました。シバザクラは来店客や地域住民に喜んでもらおうと、7年前に植栽したものです。同支店に勤務する職員が始業前に水やりなどの管理をしています。丹精込めて育てた甲斐あって、今年も白やピンク、薄紫色など綺麗に咲きました。多西支店の春の風物詩となっています。

岡部浩政支店長は「花が咲くと足を止め観賞する方も多く、来店客にも喜んでもらっています」と話しました。



満開の芝桜によるこぶ職員